

人はなぜ老いるか？

東北大学名誉教授
帯刀 益夫

第7回

再生の夢 実現へ

クローンは「私」の「再生」となるか

秦の始皇帝のように「再生の夢」を持つことは現代の医学や生物学の知識の上からはかなわぬ夢ということになります。

しかし、現代生物学では、クローン人間も作ることが可能となつてきています。

人では倫理的な問題があり、



実際に作ることは法律で禁じられていますが、実験動物のマウスだけでなく、家畜のウシやペットの犬や猫のクローンもすでに多数生まれています。

もちろん、自分の遺伝子を持つクローンを作っても、それは「私」ではなく、赤の他人ですから、本当の意味での「再生」にはなりません。

体の細胞の核を卵細胞の核と入れ替えることで特定の個体の遺伝子の特性を持つクローンを作ることができます。

そればかりでなく、すでに行われているペットのクローンつくりでは、もとの猫とは毛の模様が変わつてしまうことが分かっていますし、もちろん飼い主になつくとは限りません。

英国のノーベル賞受賞者ブレンナー博士は講演でクローンの話をしたときに、聴衆の一人が「私はクローン人間を作るのに賛成だ。もし私が臓器移植をする事態になつたら、容易にもらうことができるからだ」と述べたのに対して、「そうですね。クローン人間が臓器を必要とするときにはあなたからもらえますからね」と

一卵性双生児はお互いに同じ遺伝子を持っていますが、病気になるかどうか、また、病気の進行度でも違いが出てきますし、それぞれは違う個性をもっています。

これはエビジェネティックな制御のためで、遺伝子と環境の相互作用を含めて、遺伝子だけですべてが決定されるわけ

一般に、我々の体の組織の細胞は成熟分化していてどんな組織にでもなれる可能性を失つてしまつていきます。しかし、初期発生の際の細胞は、将来すべての組織になれる全能性を持つて

老化した組織や細胞の再生

さて、「私」の「再生」は諦めるとして、避けることのできない「老化」を克服して、健康寿命を維持する手段として、組織や細胞の再生が期待されています。老化は、眼や耳などの感覚機能、歩行困難などの運動機能、記憶減退などの認知機能など多様な生体機能、形態学的な衰退現象であり、個人差が大きい現象であり、誰でも起きる普遍的な生理的老化とともに、さらに進んだ病的老化が起こります。

こうした生理的老化や病的老化は、組織や特定の細胞にその原因があると想定されるので、その組織や細胞を取りかえる、さらには再生させることができれば、回復させることができます。そこで、再生可能な細胞に注目が集まりました。

一般に、我々の体の組織の細胞は成熟分化していてどんな組織にでもなれる可能性を失つてしまつていきます。しかし、初期発生の際の細胞は、将来すべての組織になれる全能性を持つて

実際、胚の細胞を培養すると永遠に増殖し続け、しかも全能性を持つ細胞（ES細胞）になることがわかったのです。このES細胞に加えて、ノーベル賞を受賞した山中博士が作りだしたIPS細胞などが、再生医療実現のための有用な細胞として期待が集まっています。

次回からは、ES細胞やIPS細胞を用いた再生利用の研究について紹介します。

マンガやアニメ、SFドラマや映画でよく登場するクローン人間。将来、まったく同じ遺伝子を持つ自分が作られるようになったら、と考えるととても不気味です。

編集担当

衆議院選挙

共産党 21議席へ大躍進

北陸信越で藤野さん当選

日本共産党池田支部

14日投票の衆議院選挙で日本共産党は前回8議席の2・6倍の21議席を得ました。議案提案権も獲得する画期的な躍進です。北陸信越（定数11）で藤野保史（やすふみ）さんが当選し、11年ぶりに悲願の議席奪還を果たしました。

（18・6％）と過去最高になり、議席獲得に貢献しました。

長野2区は、清沢達也さんが立候補し善戦しましたが議席獲得はなりませんでした。

私たちは、党の政策ビラ配布や電話で支持をお願いしました。ファンクラブニュース号外で「ご家族・お知らせ」に後2票、3票と広げてください」とお願いしました。ご支持をお寄せいただいたファンクラブ読者のみなさんに心からお礼申しあげます。

今回の総選挙で日本共産党は、「安倍政権の暴走ストップ、日本の政治の5つの転換」を訴えてきたかいました。さらに政党助成金の廃止を強く訴えました。

とともに、どんな問題でも国民の立場に立つた対案を示し、国民と

共同で政治を動かす「対決」「対案」「共同」の政治姿勢を貫いたことが、有権者の皆様に理解され、の躍進とと考えています。

来月4月には池田町議会議員選挙が行われます。現職2議席確保のために力を尽くします。で、ファンクラブ読者の皆様のお力添えをお願いします。

藤野さんの議席は

原発即ゼロへの唯一の議席

全国の原発の約半数が集中する地域で、2000年以降の議席を獲得しました。

党原発・エネルギー問題対策委員会事務局長として「原発ゼロ」を訴えてきた藤野保史さん。僅差に泣いた前回衆院選の雪辱を果たしました。即時原発ゼロの唯一の議席です。

藤野さんは投票日、支援者を前に「議案提案権を得て、党の政策委員会の一員としてあれも提案したい、これも提案したいとわくわくしている」と決意を語りました。

国会での活躍が期待されます。

ラム有明

あの日（11月22日）の揺れは、はじめての経験だった。今でも夜10時頃になると蘇る時がある。あの瞬間、懐中電灯を手元に置いたことと、障子戸をあけたことのみ、あとはドキドキし何したらいいのだろうかの数分間だった。▼阪神大震災の教訓から備えていることがある。居間、風呂場（脱衣室）、台所、玄関、枕元に懐中電灯を置いておくことだ。首にかけられるように紐をつけてある。寝室には上着と靴も置いてある。タンスなど固定してあつても引出から物が飛び出て散乱するとのことだ。また停電と断水が考えられるのでポリタンクも用意している。▼非常持ち出し袋にペットボトルや乾パンからマスク、タオル、ペーパー、ポリ袋、薬にいたるまで詰め込むとリュックサック3個くらいになる。しかし今後はしっかり備えておく必要があるだろう。▼またいっどこで地震に遭遇するか分らないので自家用車にもペットボトル、タオル、携帯トイレの用意は必要ではないかと考えている。

部内資料

発行責任者 太田 勅 (62-5727)
議員連絡先 うすい孝彦 (62-5093)
服部 久子 (62-4357)

158号

2014年12月

日本共産党

池田ファンクラブ・ニュース

あした天気にな〜れ



19日原発反対官邸前行動に参加する藤野議員（中央）